大阪府

第3期大阪府がん対策推進計画について

OSAKA-KANSAI JAPAN EXPO2025
World Expo 2025 Candidate

命を守る がん検診
大阪府がん対策基金

平成30年６月１０日

大阪府 健康医療部 保健医療室 健康づくり課
生活習慣病・がん対策グループ

第3期がん対策推進基本計画（概要）

第1　全体目標

「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」
①科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実　②患者本位のがん医療の実現　③尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

第2　分野別施策

1. がん予防

（1）がんの1次予防

（2）がんの早期発見、がん検診（2次予防）

2. がん医療の充実

（1）がんゲノム医療
（2）がんの手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法
（3）チーム医療
（4）がんのリハビリテーション
（5）支持療法
（6）希少がん、難治性がん
（それぞれのがんの特性に応じた対策）
（7）小児がん、AYA（※）世代のがん、高齢者のがん
（※）Adolescent and Young Adult：思春期と若年成人
（8）病理診断
（9）がん登録
（10）医薬品・医療機器の早期開発・承認等に向けた取組

3. がんとの共生

（1）がんと診断された時からの緩和ケア
（2）相談支援、情報提供
（3）社会連携に基づくがん対策・がん患者支援
（4）がん患者等の就労を含めた社会的な問題
（5）ライフステージに応じたがん対策

4. これらを支える基盤の整備

（1）がん研究
（2）人材育成
（3）がん教育、普及啓発

第3　がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

1. 関係者等の連携協力の更なる強化
2. 都道府県による計画の策定
3. がん患者を含めた国民の努力
4. 患者団体等との協力
5. 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
6. 目標の達成状況の把握
7. 基本計画の見直し

目次

第１章　　第３期計画の基本的事項

第２章　　第２期計画の評価

第３章　　大阪府におけるがんの現状と課題

第４章　　基本的な考え方

第５章　　個別の取組みと目標

第６章　　計画の推進体制

計画の基本的事項等(第1～2章)

■位置づけ　：　がん対策基本法第12条第1項に基づく都道府県計画

■目　　的　：　がん患者への医療の提供等の現状と課題を把握し、その解決を図るための取組みを社会全体で総合的かつ計画的に推進

■期　　間　：　平成30(2018）年度から平成35(2023）年度（6年間）

■他計画との整合性　：　大阪府保健医療計画、大阪府健康増進計画、大阪府高齢者計画など他計画との整合を図る

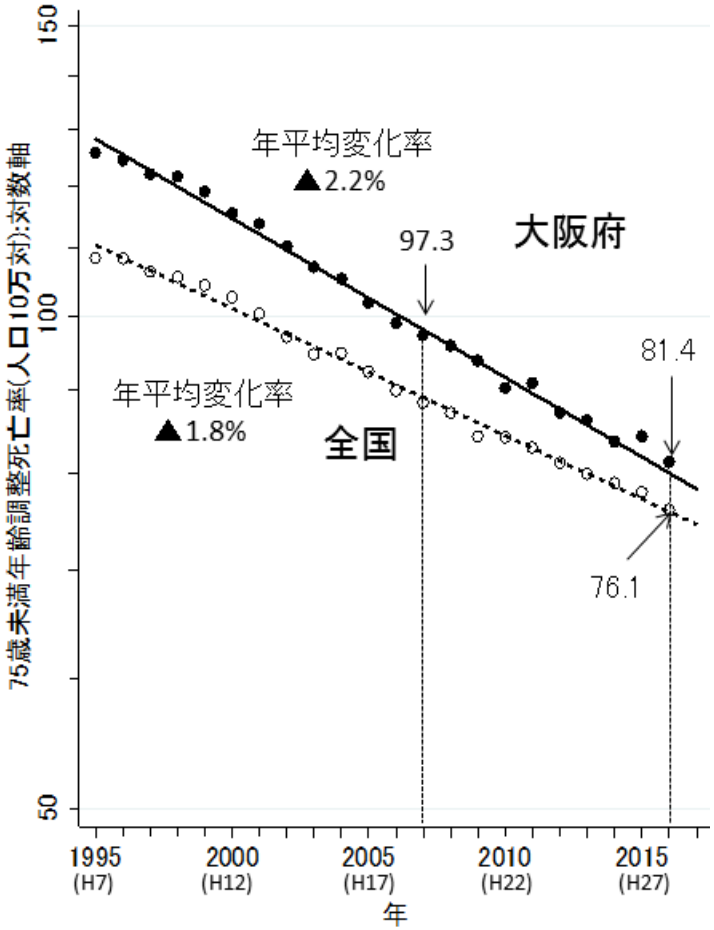
■第2期計画の評価　：　全体目標「75歳未満の全がん年齢調整死亡率」の目標達成は困難な見通し

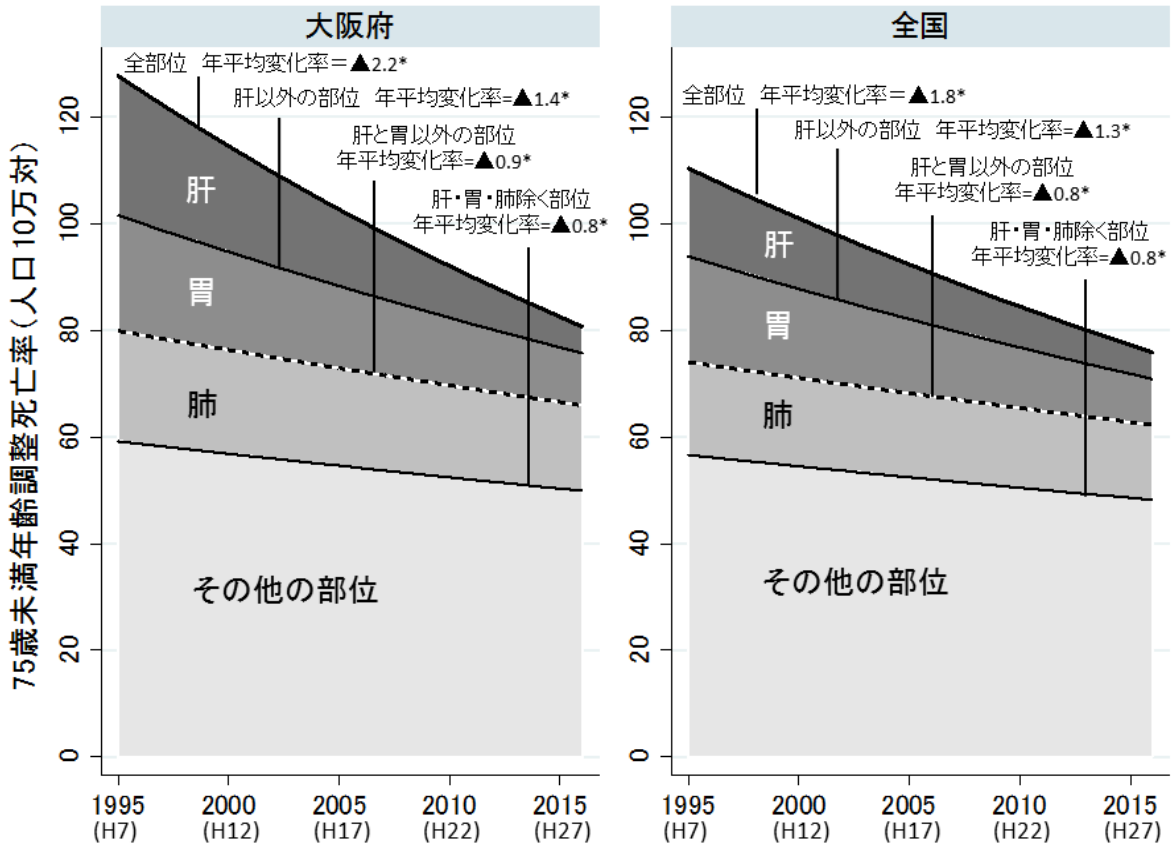
（H29死亡率(対H19年比)：目標▲30%減⇒見込▲約20%減）

大阪府におけるがんの現状と課題(第3章)

①がん年齢調整死亡率（75歳未満）の推移

〇平成19年：97．3（全国44位）⇒平成28年：81．4（全国42位）
〇年平均▲2．2%と、全国平均（▲1．8%）を上回るペースで減少
〇部位別にみると、肝がんと胃がんの死亡率が大きく減少

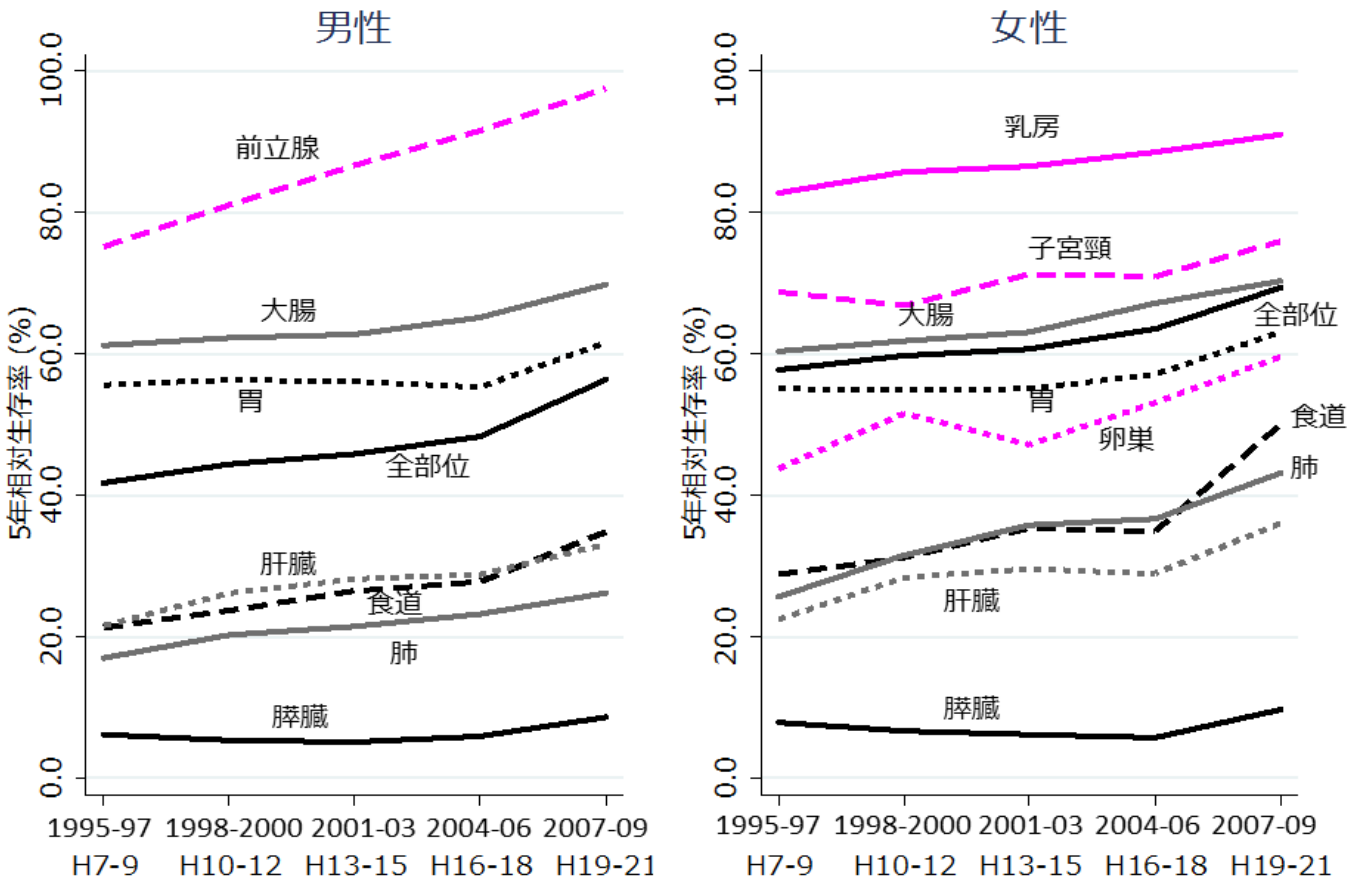




大阪府におけるがんの現状と課題(第3章)

②5年相対生存率（性別･部位別）の推移

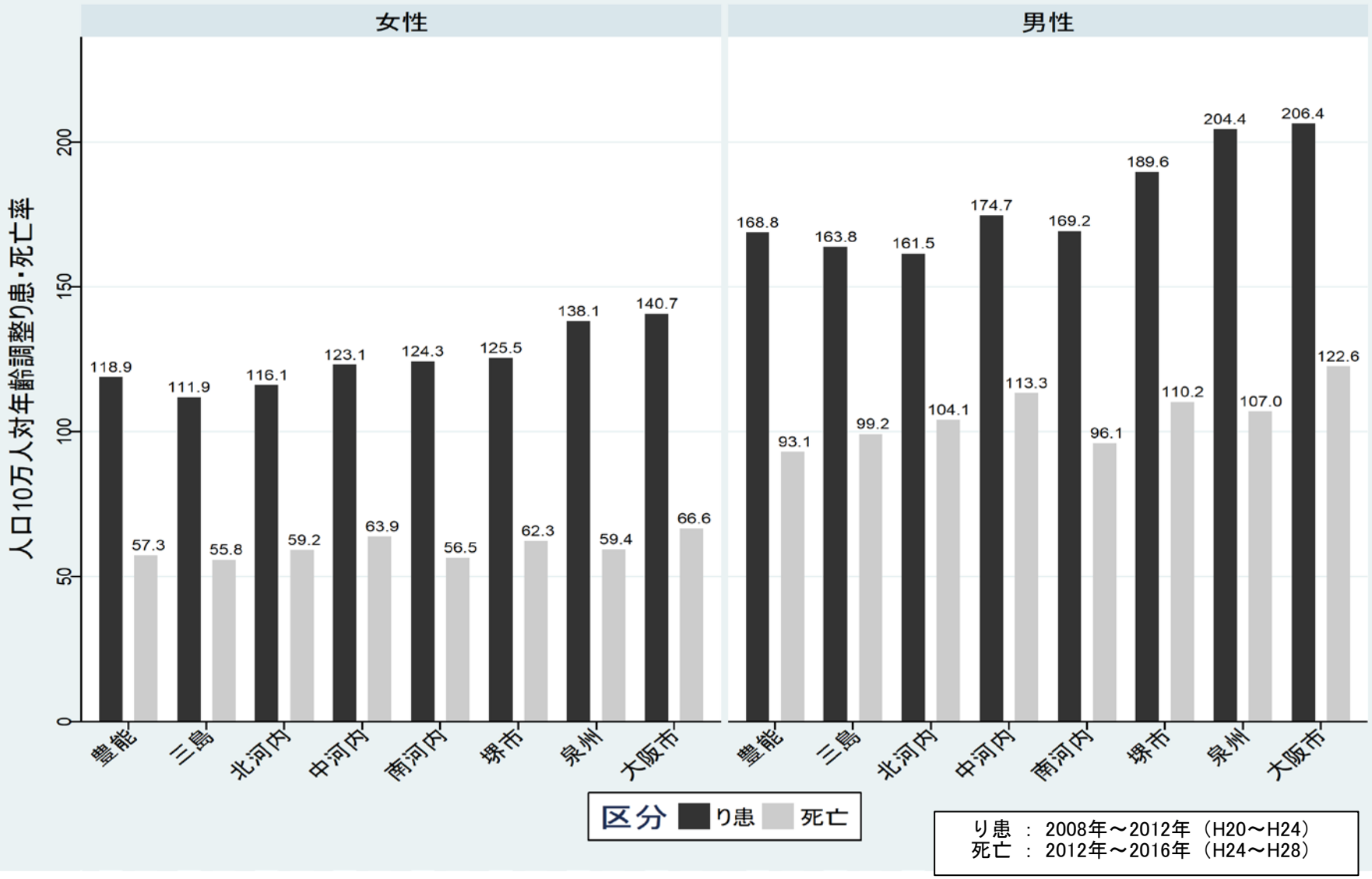
〇がんの5年相対生存率は、多くの部位で向上
〇治療だけでなく、仕事との両立支援など、がん患者の方が生活を送るなかで必要な支援を受けられる環境の整備が必要



大阪府におけるがんの現状と課題(第3章)

③二次医療圏別り患率・死亡率

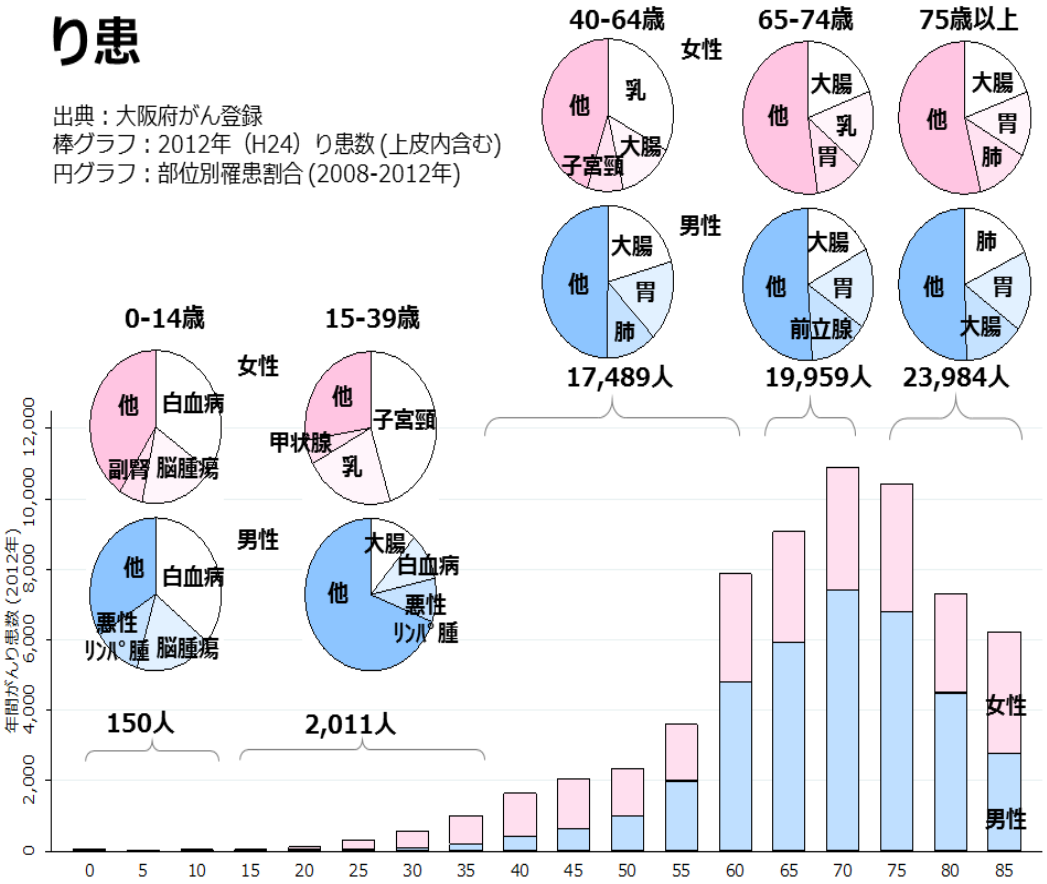
〇二次医療圏間で男女とも1．1～1．3倍程度の違い

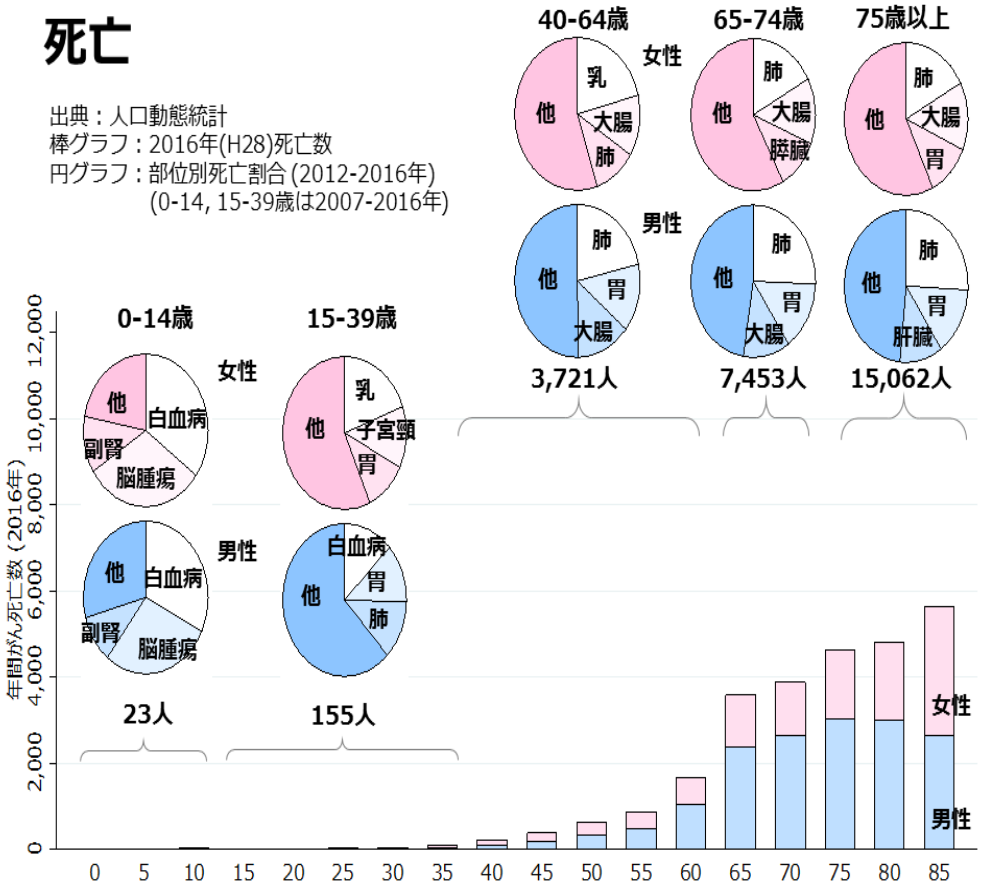


大阪府におけるがんの現状と課題(第3章)

④ライフステージ別のり患・死亡数

〇ライフステージ別でみると、り患数、死亡数の多いがんには違いがあり、それぞれの特性に応じた対策が必要



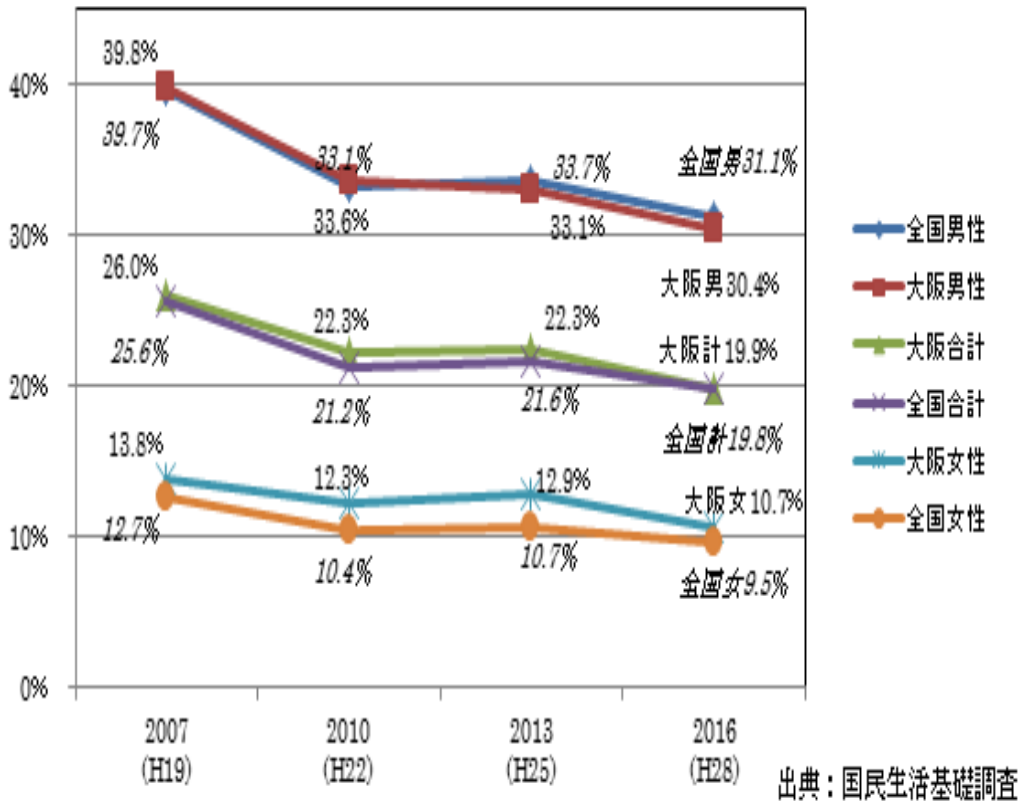


大阪府におけるがんの現状と課題(第3章)

①大阪府におけるがん対策の現状と課題：<u>がんの予防</u>・早期発見

▽ 喫煙、飲酒、食事、運動などの生活習慣の改善によるがん予防、がん教育の充実が必要
▽ 肝炎ウイルス検査陽性者の重症化を予防するためには、肝炎ウイルス検査や陽性者への精密検査の受診勧奨、肝疾患診療連携拠点病院を中心とする医療提供体制の充実が必要

喫煙率（20歳以上）（大阪府・全国）



出典：国民生活基礎調査

市町村における肝炎ウイルス検査要精密検査者のフォローアップ状況

B型肝炎	平成21（2009）年度	平成25（2013）年度	平成26（2014）年度	平成27（2015）年度
受診者数	100	141	156	127
精密検査受診率	27%	58%	60%	54%
C型肝炎	**平成21（2009）年度**	**平成25（2013）年度**	**平成26（2014）年度**	**平成27（2015）年度**
受診者数	113	97	83	49
精密検査受診率	33%	62%	55%	41%

大阪府におけるがんの現状と課題(第3章)

①大阪府におけるがん対策の現状と課題：がんの予防・早期発見

▽ がん検診受診率は年々向上も依然全国最低レベル、受診率向上が課題
▽ がんの早期発見につながるよう精密検査受診率の向上など、検診精度の維持向上が必要

第2期大阪府がん対策推進計画におけるがん検診受診率目標値と実績値推移

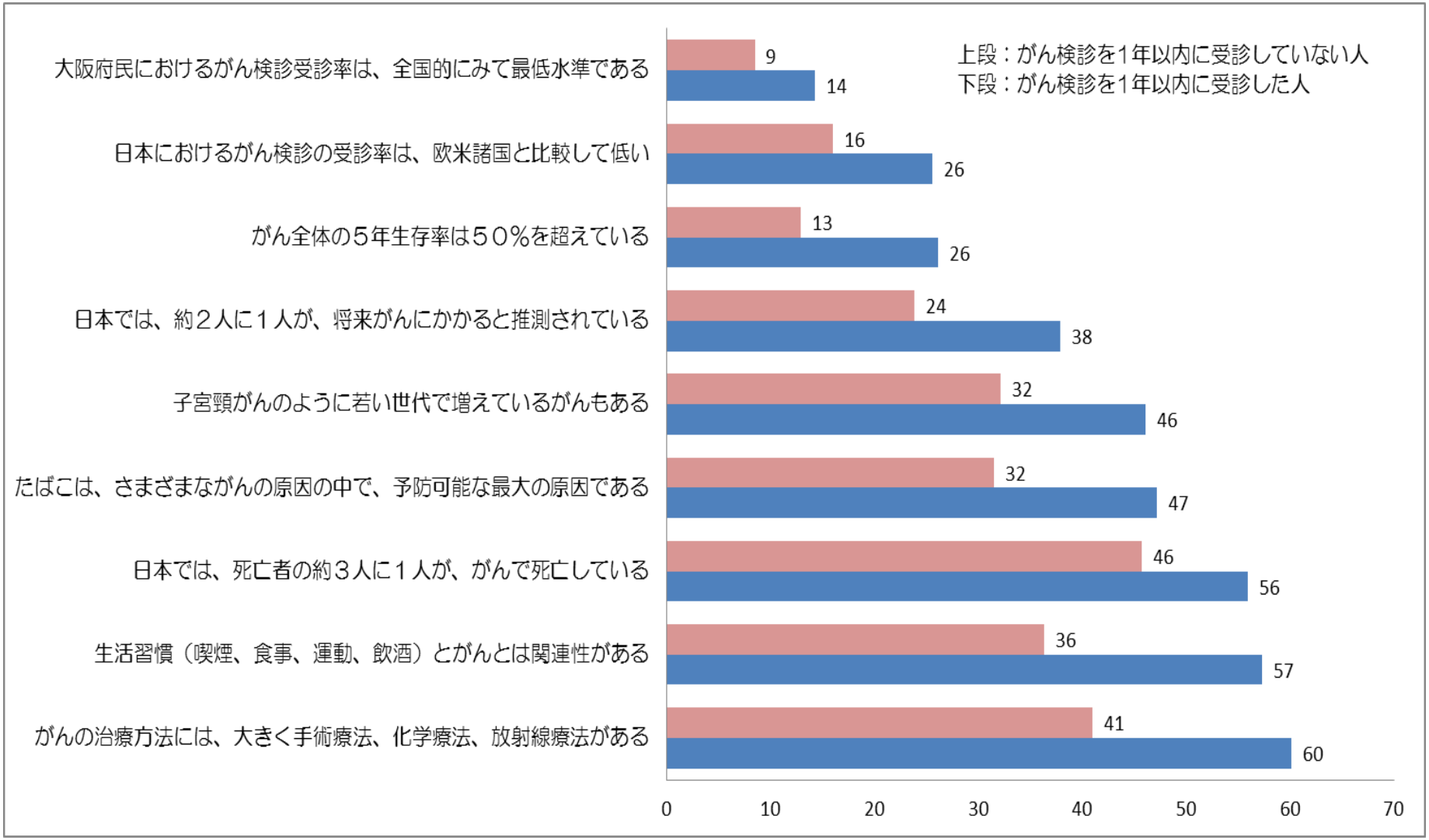
	胃がん検診	大腸がん検診	肺がん検診	乳がん検診	子宮頸がん検診
平成22年（2010）	23.0%（47位）	19.5%（47位）	16.4%（47位）	32.5%（46位）	**33.0%（45位）**
平成25年（2013）	30.2%（47位）	29.8%（47位）	32.3%（47位）	35.7%（46位）	**37.1%（45位）**
平成28年（2016）	33.7%（46位）	34.4%（44位）	36.4%（46位）	39.0%（43位）	**38.5%（39位）**
平成28年（2016）全国平均	40.9%	41.4%	46.2%	44.9%	**42.3%**
第2期計画目標値	**40%**	**30%**	**35%**	**40%**	**35%**

大阪府におけるがん検診の精密検査受診率の推移と許容値移

	胃がん検診	大腸がん検診	肺がん検診	乳がん検診	子宮頸がん検診
平成22年（2010）	83.8%（21位）	63.5%（40位）	81.8%（27位）	92.7%（21位）	**80.7%（15位）**
平成25年（2013）	83.9%（24位）	68.8%（31位）	85.2%（21位）	91.6%（8位）	**77.6%（21位）**
平成26年（2014）	85.7%（17位）	70.2%（30位）	87.6%（14位）	93.4%（9位）	**82.4%（16位）**
平成28年（2016）全国平均	80.9%	68.3%	80.3%	86.3%	**72.5%**
許容値	70%以上	70%以上	70%以上	80%以上	70%以上

大阪府におけるがんの現状と課題(第3章)

がんに関する知識とがん検診の受診状況の関係



出典：がん・がん検診に対する府民の意識と行動に関する調査

大阪府におけるがんの現状と課題(第3章)

がん検診を受けていない理由（複数回答）

全　体	回答数
	1,183
がん検診そのものを知らないから	45
うっかり受診するのを忘れてしまっているから	49
受診する時間がないから	120
受診する場所が不便だから（近くに受診できる場所がないから）	67
費用がかかるため、経済的に負担になるから	197
健康状態に自信があり、必要性を感じないから	65
検査に伴う苦痛に不安があるから	65
がんが心配な時は、その都度医療機関を受診すればよいと思うから	71
他疾患で医療機関を受診した際に、気になるところがあれば検査（血液・CT・レントゲン等）を受けるようにしているから	64
がんと診断されるのが怖いから	62
恥ずかしいから	9
がん検診を受けても、見落としがあると思っているから	24
2年に1度は受診しているから	53
その他	21
特に理由はない・わからない	271

出典：がん・がん検診に対する府民の意識と行動に関する調査

大阪府におけるがんの現状と課題(第3章)

①がん医療提供体制【がん診療拠点病院】

がん診療拠点病院の主な機能

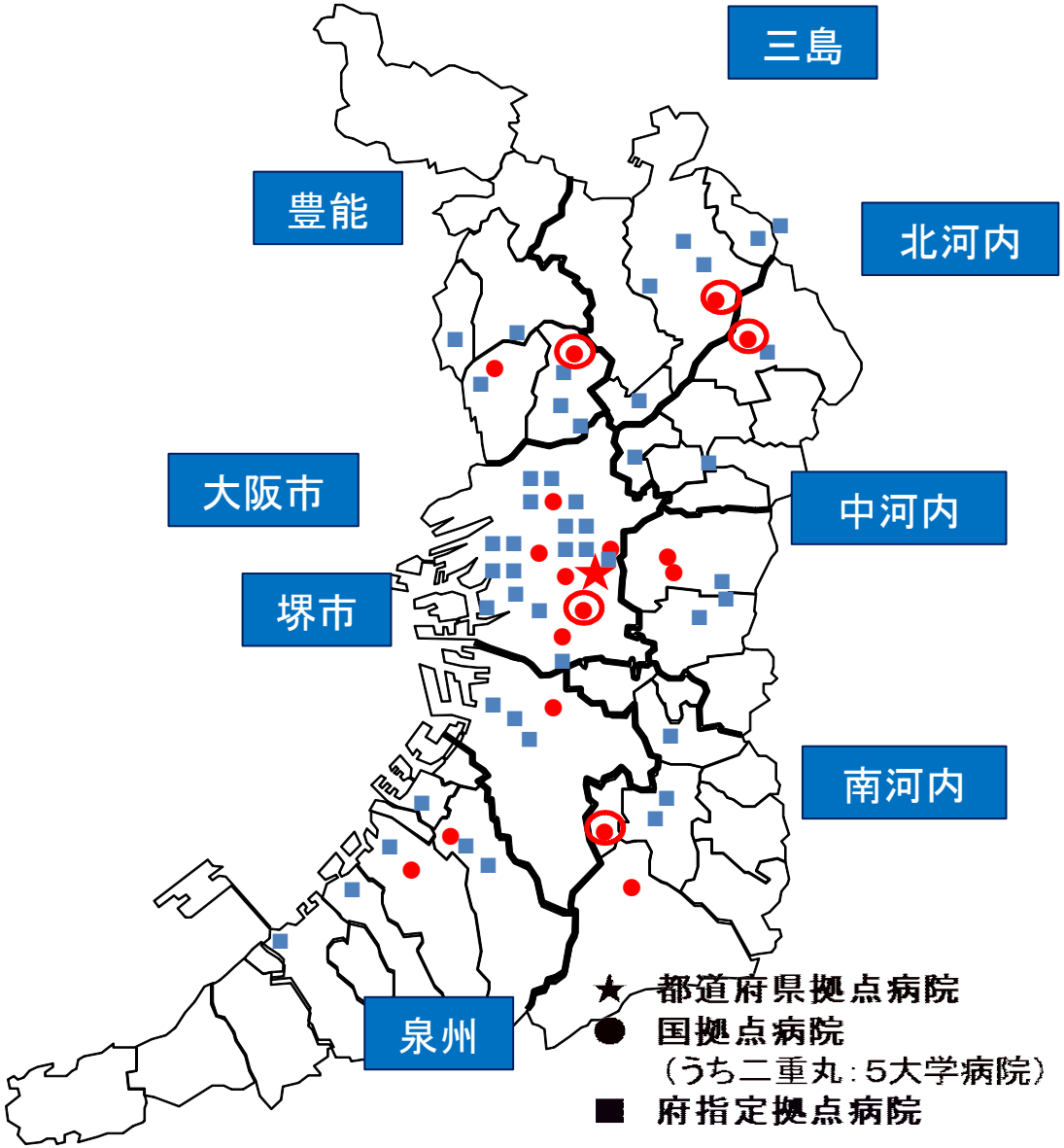
下記の機能を有する病院をがん診療拠点病院として指定しています。

【主な診療機能】
〇集学的治療の実施
（手術、化学療法、放射線治療）
〇がん登録
〇緩和ケアの提供
〇セカンドオピニオン
〇相談支援センターの設置
〇地域医療連携クリティカルパス
〇病病連携、病診連携　等

【主な人員配置】
〇手術療法医
〇化学療法医
〇放射線診断医
〇放射線治療医
〇緩和ケア
（身体症状担当医、精神症状担当医、看護師）
〇病理診断医　等

大阪府におけるがん対策の現状と課題(第3章)

▽ がん診療拠点病院を通じて、がん医療の均てん化を進めるとともに、二次医療圏毎に地域の実情に応じて、地域連携の一層の充実を図ることが必要



（平成30年4月1日時点）

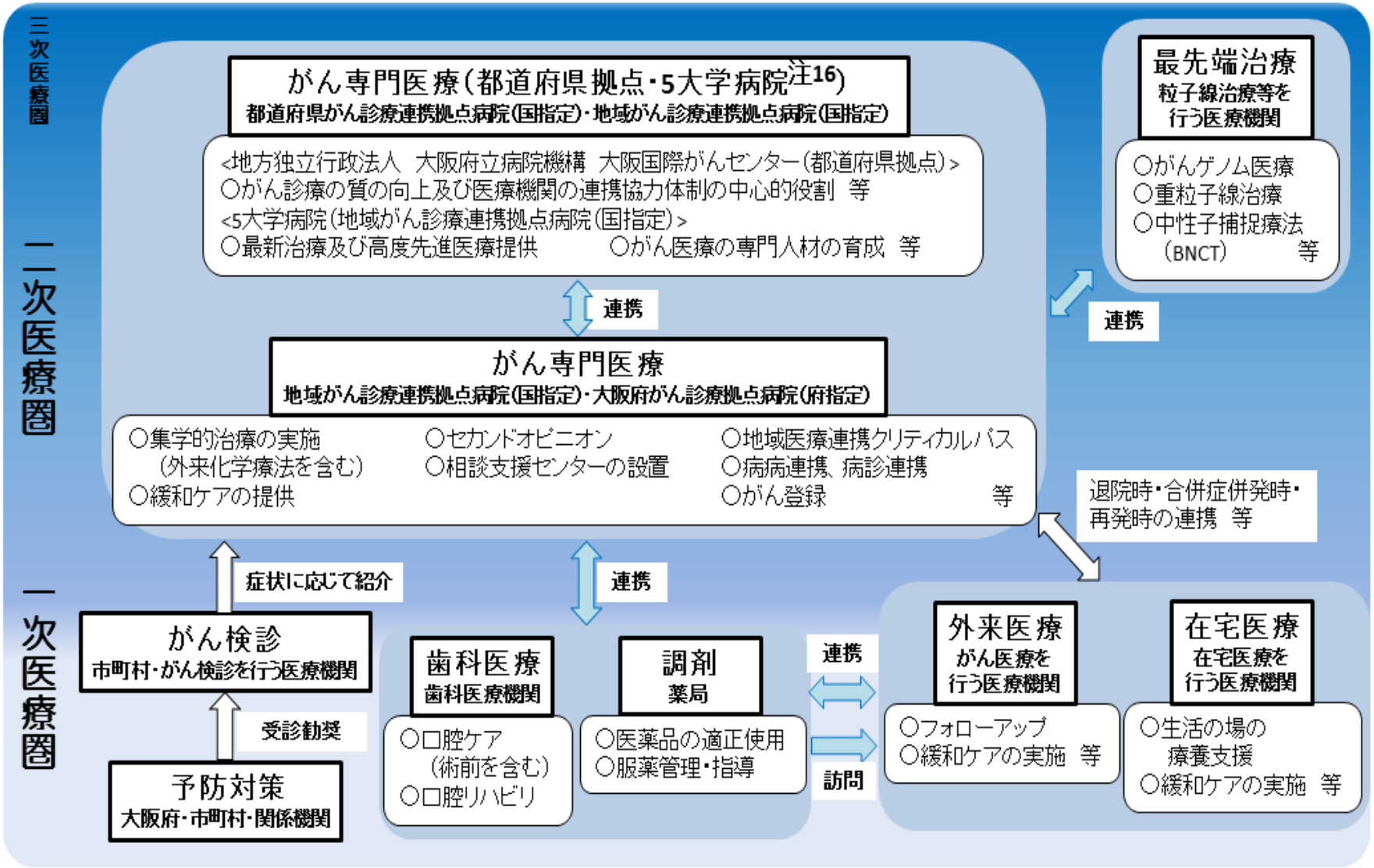
都道府県拠点病院（国指定）	1

二次医療圏	国指定拠点病院	府指定拠点病院
豊能	2	6
三島	1	3
北河内	1	5
中河内	2	4
南河内	2	3
堺市	2	3
泉州	1	6
大阪市	5	17
合　計	16	47

上記のほか、国指定・小児がん拠点病院として大阪市立総合医療C・大阪母子医療Cが指定されている

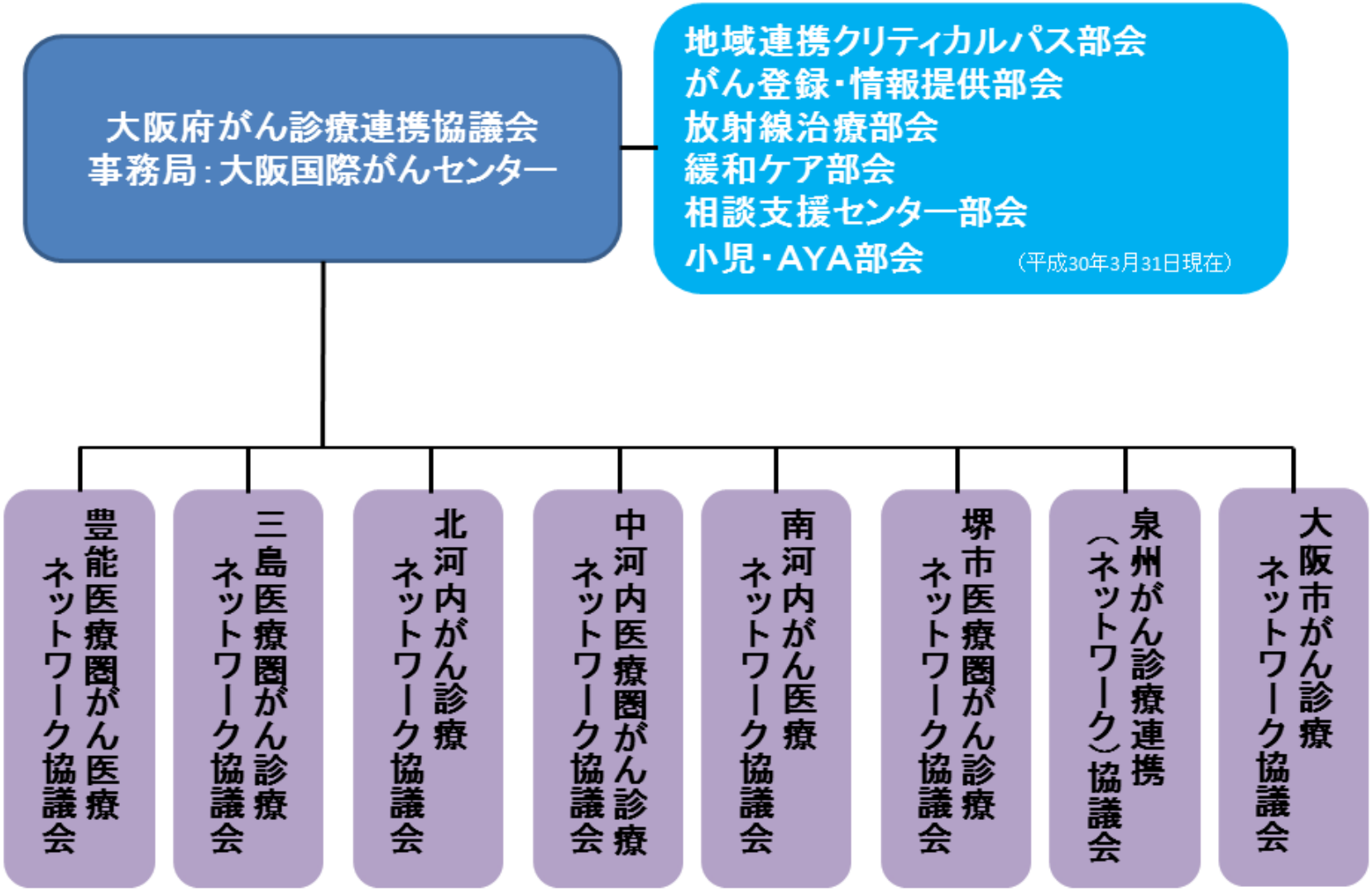
大阪府におけるがんの現状と課題(第3章)

大阪府におけるがん医療提供体制



大阪府におけるがんの現状と課題(第3章)

大阪府がん診療連携協議会とがん診療ネットワーク協議会

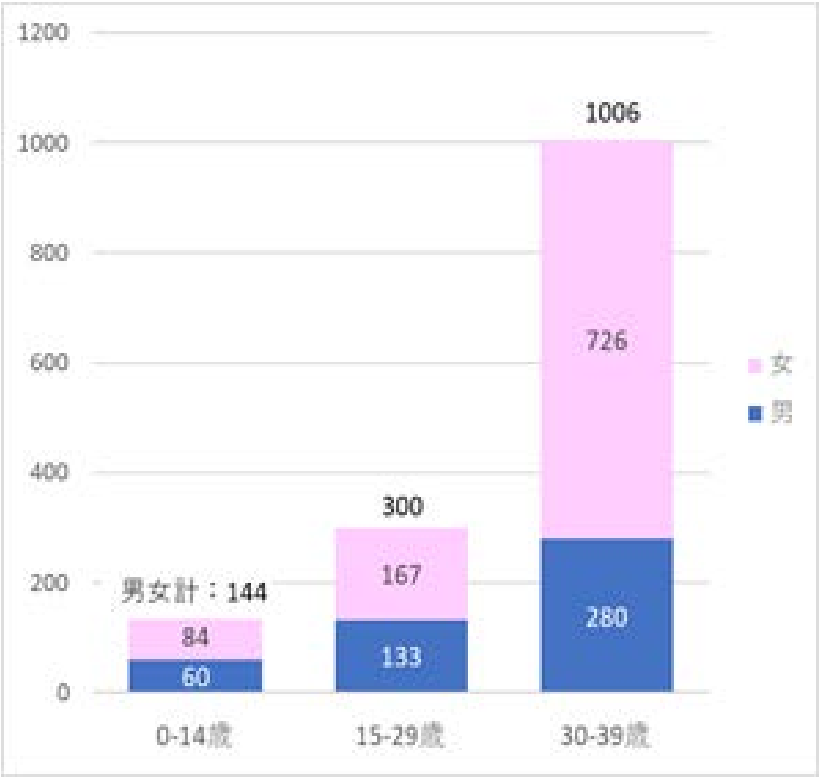


大阪府におけるがん対策の現状と課題(第3章)

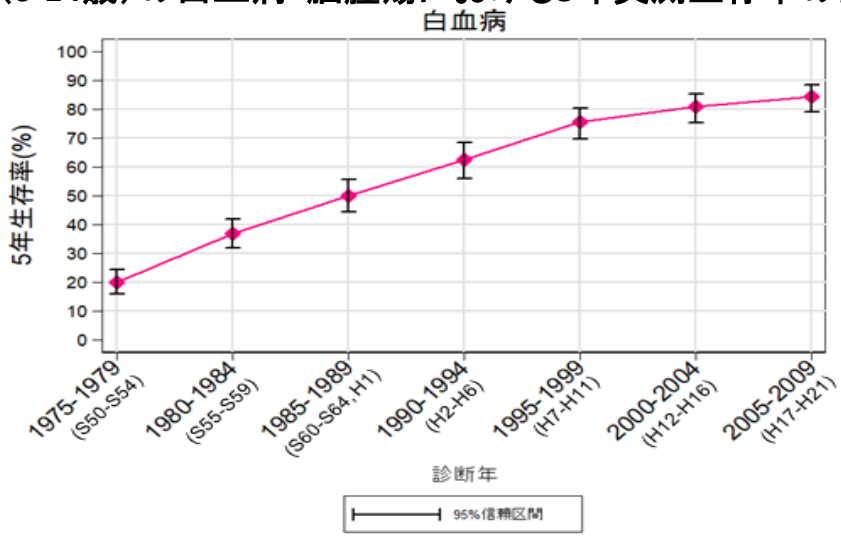
②大阪府におけるがん対策の現状と課題：がん医療の充実

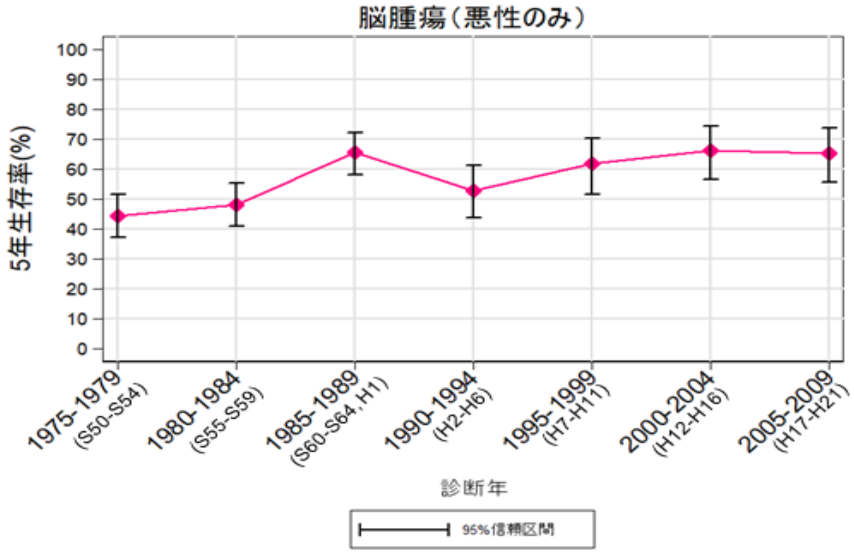
▽ 小児・AYA世代・高齢者のがん、希少がん、難治性がんは、それぞれの特性に応じた対策が必要

小児・AYA世代のがんの1年あたりのり患数
【2012年（H24年）、上皮内がんを除く】



小児（0-14歳）の白血病・脳腫瘍における5年実測生存率の推移





大阪府におけるがん対策の現状と課題(第3章)

②大阪府におけるがん対策の現状と課題：がん医療の充実

▽ 重粒子線治療施設やBNCT治療施設が開設される予定、最先端のがん治療の提供が期待

大阪重粒子線センター

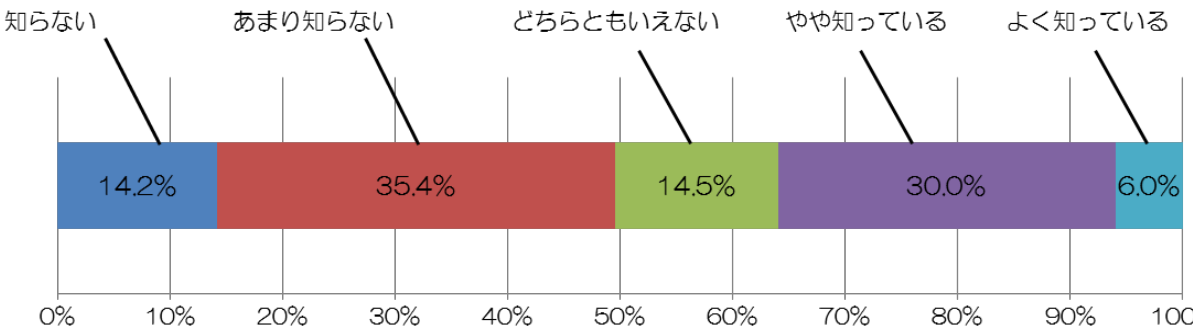
関西BNCT共同医療センター

大阪府におけるがん対策の現状と課題(第3章)

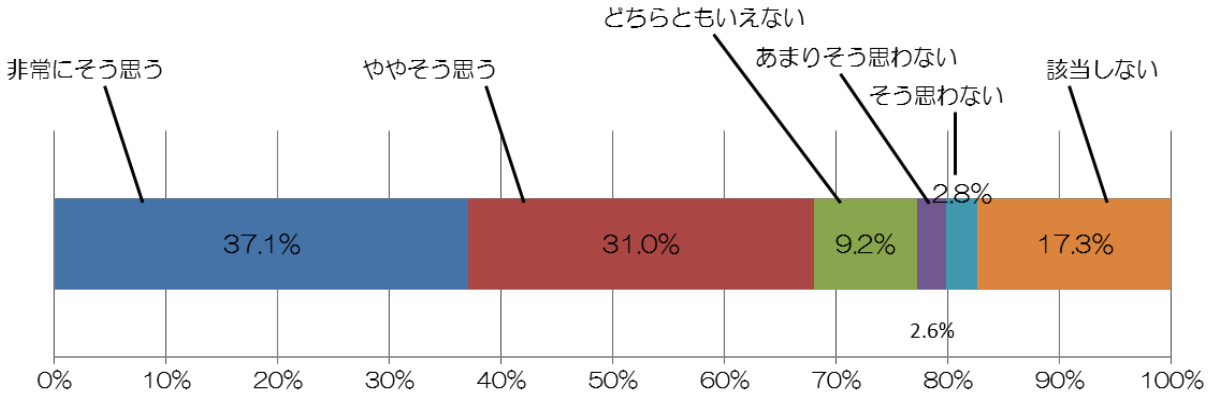
②大阪府におけるがん対策の現状と課題：がん医療の充実

▽ 緩和ケアについて広く府民に対する普及啓発を図るとともに、提供体制の充実、緩和ケア研修会の受講促進等に努めることが必要

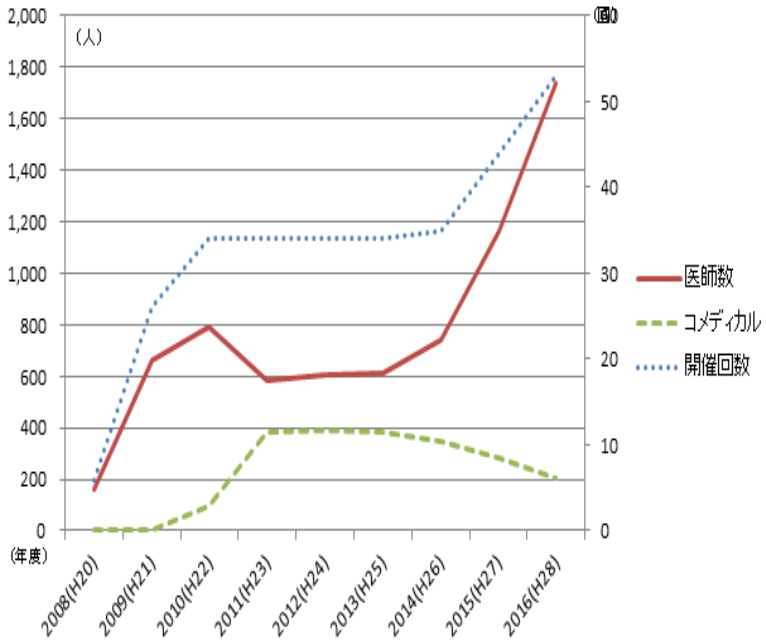
緩和ケアについてよく知っているか（n=1963）



現在かかっている病院において痛みなどつらい症状へ対応してくれたか（n=1773）



緩和ケア研修会（PEACE研修会）開催状況

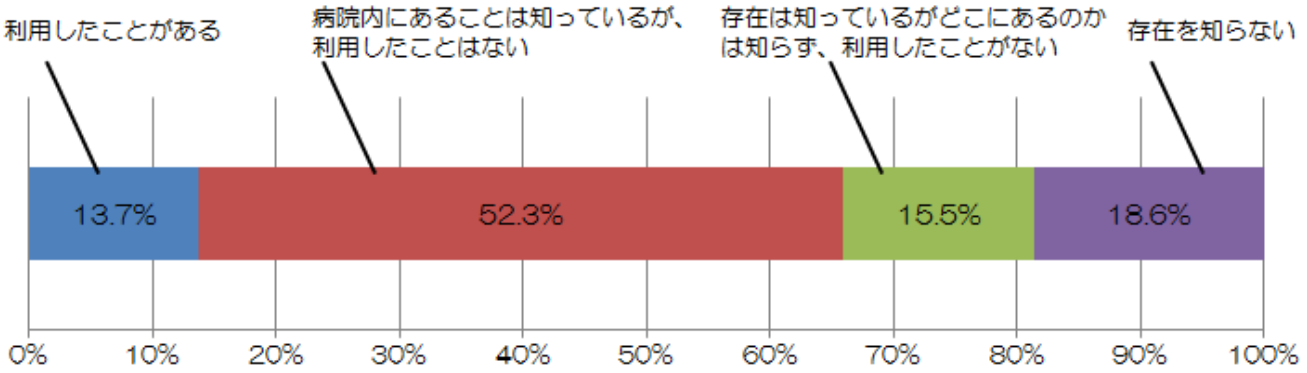


大阪府におけるがん対策の現状と課題(第3章)

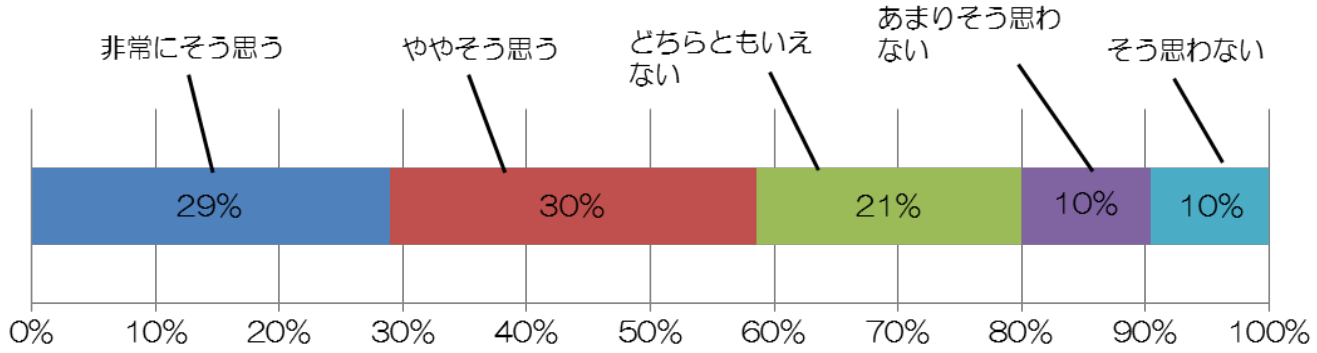
③大阪府におけるがん対策の現状と課題：患者支援の充実

▽ がん診療拠点病院のがん相談支援センターの利用促進につながる取組みが必要
▽ がん患者や家族が確実に必要とする情報にアクセスできる環境整備が重要

がん患者の相談支援センター利用状況（n=1946）



府内各病院の治療状況等の情報は必要と思うか（n＝1493）

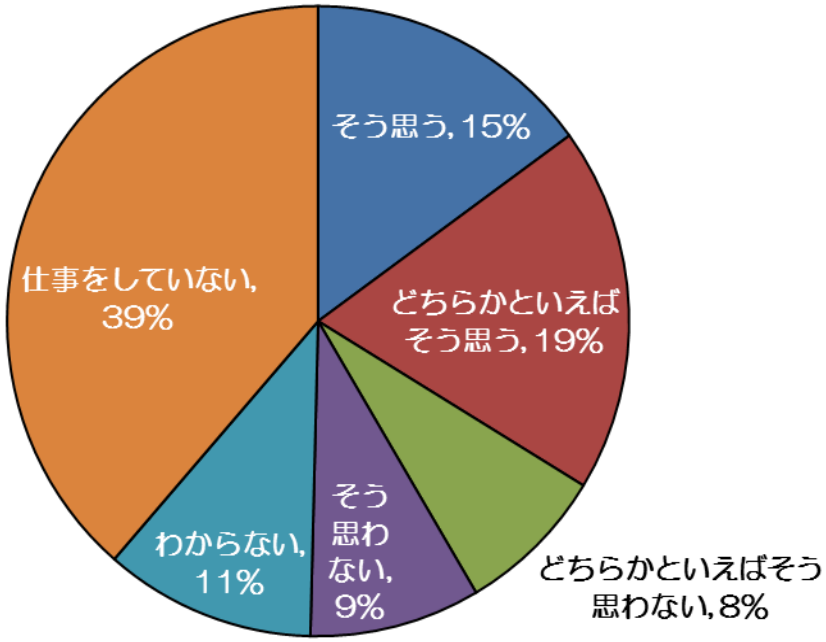


大阪府におけるがん対策の現状と課題(第3章)

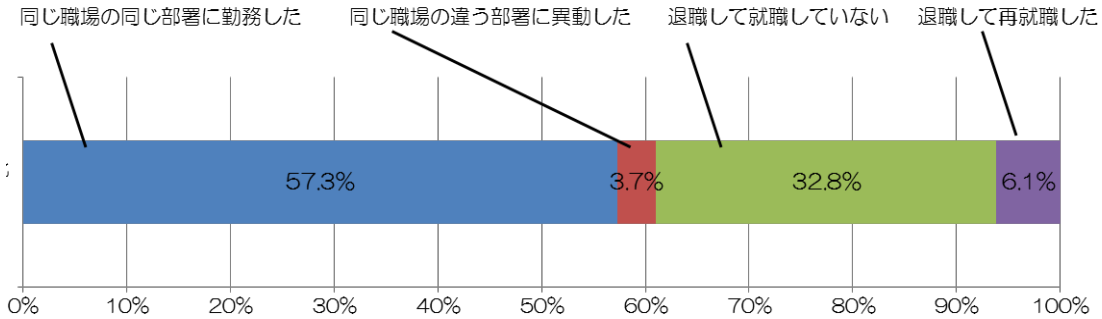
③大阪府におけるがん対策の現状と課題：患者支援の充実

▽ 働く世代では、がん治療と仕事の両立など就労支援が必要

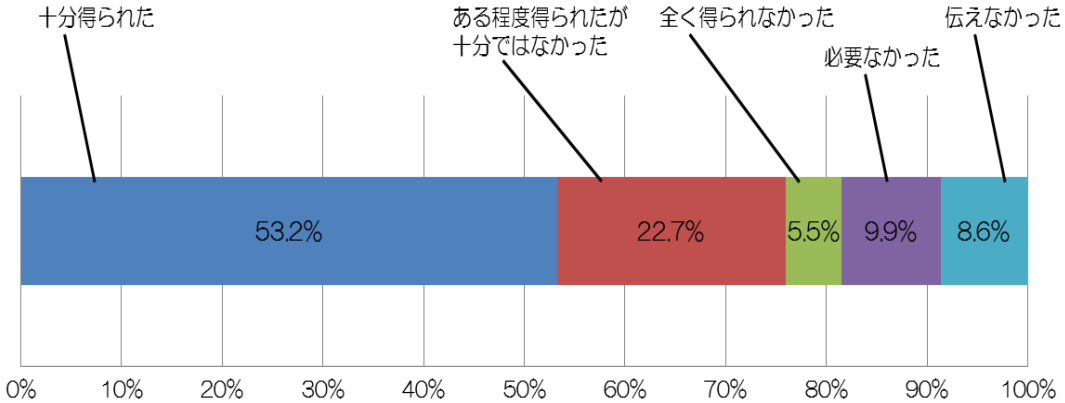
がん治療と仕事の両立に関する府民の意識
–(がん治療を受けながら働き続けられる環境か)



がんと診断された後の働き方の変化(n=749)



がんと診断された後の職場の理解や支援（治療中）(n=973)



第3期大阪府がん対策推進計画基本的な考え方（第4章）

基本理念

がんを知り、がん予防を進めるとともに、がんになっても心身ともに適切な医療を受けられ、安心して暮らせる社会の構築

全体目標

がん死亡率の減少 （二次医療圏間の差の縮小）	**がんり患率の減少** （二次医療圏間の差の縮小）	**がん患者や家族の生活の質の確保**

基本的な取組み

(1)がんの予防・早期発見

○がんの１次予防
（たばこ対策、がん教育等）
○がんの早期発見、がん検診
（2次予防）
○肝炎肝がん対策の推進

(2)がん医療の充実

○医療提供体制の充実
○小児・ＡＹＡ世代、希少がん等、高齢者のがん対策
○新たな治療法の活用
○がん登録の推進
○緩和ケアの推進

(3)患者支援の充実

○がん患者の相談支援
○がん患者への情報提供
○就労支援などがんサバイバーシップ支援

(4)がん対策を社会全体で進める環境づくり

○社会全体での機運づくり　○大阪府がん対策基金　○がん患者会等との連携促進

22

第3期大阪府がん対策推進計画の基本的な考え方（第4章）

個別取組体系
（基本的な取組み）

【目標】（モニタリング指標）

1　がんの予防・早期発見
(1)がんの１次予防
(2) がん検診によるがんの早期発見
（２次予防）
(3) 肝炎肝がん対策の推進

○成人の喫煙率の減少
○官公庁、学校など全面禁煙の割合の向上
○受動喫煙の機会を有する者の割合の減少

○がん検診受診率の向上
○精検受診率の向上

○肝炎ウイルス検査累積受診者数の増加
○肝炎ウイルス精検受診率の向上

2　がん医療の充実
(1) 医療提供体制の充実
(2) 小児・AYA世代のがん・
高齢者のがん・希少がん等の対策
(3) 新たな治療法の活用
(4) がん登録の推進
(5) 緩和ケアの推進

○がん患者の５年相対生存率の向上

＜モニタリング指標＞
・がん診療拠点病院における集学的治療の推進
・地域連携クリティカルパスを適用した延べ患者数
・緩和ケアチームの新規診療症例数
・緩和ケア研修受講者数
・在宅緩和ケアに取り組む医療機関数

3　患者支援の充実
(1) がん患者の相談支援
(2) がん患者への情報提供
(3) 就労支１援等の
がんサバイバーシップ支援

○がん患者の緩和ケアに対する満足度の向上

○がん患者のがん相談支援Ｃに対する認知度の向上

＜モニタリング指標＞
・がん相談支援センターの相談件数
・がん登録データなどの情報提供件数
・がん患者の緩和ケアに対する理解度の向上

4　がん対策を社会全体で進める環境づくり
(1) 社会全体での機運づくり
(2) 大阪府がん対策基金
(3) がん患者会等との連携促進

＜モニタリング指標＞
・企画提案事業累積採択延件数
・がん検診受診推進員認定数
・患者会、患者支援団体及び患者サロン数

【全体目標・基本理念】

がんの年齢調整
り患率の減少

がん年齢調整死亡率の減少

がん患者や家族の生活の質の確保

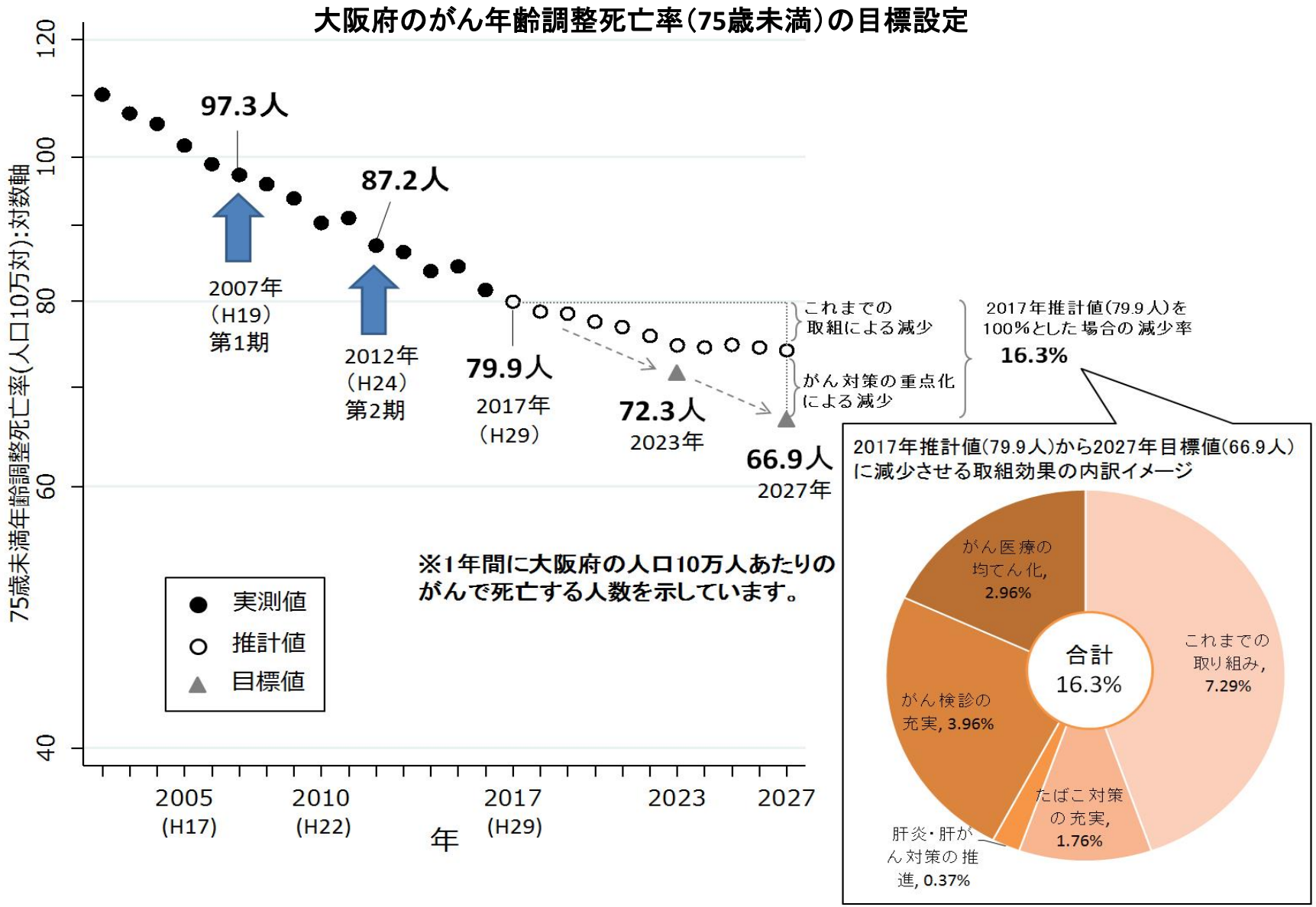
基本理念

がんを知り、がん予防を進めるとともに、
がんになっても心身ともに適切な医療を受けられ、
安心して暮らせる社会の構築

健康増進計画
等との整合性

【共通理念】全ての府民が健やかで心豊かに生活できる活力がある社会
～いのち輝く健康未来都市・大阪の実現～
【共通目標】健康寿命の延伸・健康格差の縮小

第3期大阪府がん対策推進計画　基本的な考え方（第4章）



個別の取組みと目標(第5章)

(1)がん予防・早期発見

がんの1次予防

	個別目標	現在の状況	2023年度の目標
1	成人の喫煙率(男性/女性)の減少 【国民生活基礎調査】	30.4%／10.7% 【平成28(2016)年】	15%／5%
2	敷地内禁煙の割合(病院/私立小中高等学校) 【大阪府調べ】	73.5%/51.9% 【平成28(2016)年度】	100%
3	建物内禁煙の割合(官公庁/大学) 【大阪府調べ】	91.9%／83.0% 【平成28(2016)年度】	100%
4	受動喫煙の機会を有する者の割合 (職場／飲食店) 【大阪府調べ】	34.6%／54.4% 【平成25(2013)年】	0%／15%

個別の取組み

①たばこ対策

- ◆ 小中高における喫煙行動・受動喫煙の影響等の正しい知識の提供
- ◆ 女性の喫煙率減少に向けた市町村等と連携した禁煙指導
- ◆ 職域等における医療保険者と連携した各種セミナー実施、禁煙相談
- ◆ 医療保険者、医師会、歯科医師会等と連携した禁煙サポート促進
- ◆ 健康増進法や府の受動喫煙の防止に関するガイドラインを踏まえた禁煙推進、受動喫煙のない環境づくり促進
- ◆ 母子保健施策と連携した子育て世代への受動喫煙防止啓発、施設管理者への全面禁煙の意義・必要性の働きかけ

②喫煙以外の生活習慣の改善

- ◆ 市町村、学校、医療保険者等と連携したがん予防につながる生活習慣の普及啓発

③がん教育、がんに関する知識の普及啓発

- ◆ がん教育担当教員に対する研修の実施
- ◆ がん専門医、がん経験者、学校医など外部講師の活用やテキストの定期的な更新等学校主体のがん教育の実施支援
- ◆ 大学、民間団体や患者団体、医療保険者、事業主等様々な主体と連携したセミナー開催

④がんに関する感染症対策

- ◆ 子宮頸がん予防ワクチン接種については、国の科学的知見に基づく総合的な判断を踏まえ必要な対応
- ◆ ヘリコバクター・ピロリ菌については、胃がん発生の有効性に係る国の検討結果を踏まえ必要な対応

個別の取組みと目標(第5章)

(1)がん予防・早期発見

がんの早期発見、がん検診(2次予防)

	個別目標		現在の状況	2023年度の目標
1	がん検診受診率【平成28(2016)年】 【国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」がん検診受診率(国民生活基礎調査)】	胃がん	33.7%	40%
2		大腸がん	34.4%	40%
3		肺がん	36.4%	45%
4		乳がん	39.0%	45%
5		子宮頸がん	38.5%	45%
6	精密検査受診率【平成26(2014)年度】 【国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」がん検診プロセス指標】	胃がん	85.7%	90%
7		大腸がん	70.2%	80%
8		肺がん	87.6%	90%
9		乳がん	93.4%	95%
10		子宮頸がん	82.4%	90%

個別の取組み

①市町村におけるがん検診受診率の向上

- ◆ 市町村に対するエビデンスに基づく啓発資材の作成等技術支援
- ◆ 受診対象者名簿を活用した効果的な個別受診勧奨・再勧奨(コール・リコール)等の推進、市町村職員対象の研修や個別支援
- ◆ がん検診重点受診勧奨対象者活用に向けた好事例の紹介等
- ◆ がん検診と特定健診の同時実施の取組み実績等に基づく支援

②がん検診の精度管理の充実

- ◆ 市町村の検診結果等データ収集・分析と精度向上に必要なデータ提供
- ◆ 国の指針に基づかないがん検診の改善等働きかけ
- ◆ 質の高い検診体制の整備に向けた医師や放射線技師等への研修等

③職域におけるがん検診の推進

- ◆ がん検診受診推進員を活用した職域におけるがん検診の普及
- ◆ 企業の労務担当者等への「職域におけるがん検診に関するガイドライン」普及啓発

個別の取組みと目標(第5章)

(1)がん予防・早期発見

肝炎肝がん対策の推進

	個別目標	現在の状況	2023年度の目標
1	肝炎ウイルス検査累積受診者数 【大阪府調べ】	約55万人 【平成27(2015)年度】	約109万人
2	肝炎ウイルス検査精密検査受診率 【大阪府調べ】	44.4% 【平成27(2015)年度】	80%

個別の取組み

①肝炎肝がんの予防

- ◆ 肝炎肝がんについての正しい知識と理解のための普及啓発
- ◆ NASHなどの生活習慣病と関連のある肝がん予防のための栄養バランスの良い食生活、適正体重、身体活動量など生活習慣の改善
- ◆ B型肝炎ワクチン接種の有効性、安全性等の情報提供、感染防止の普及啓発

②肝炎ウイルス検査の受診促進

- ◆ ホームページ等、職域との連携を通じた受診勧奨、肝炎ウイルス感染の高リスク集団に対する受診勧奨
- ◆ 検診希望者がアクセスしやすい効果的な情報発信方策の検討

知って、肝炎!
Hepatitis : Think Again

③肝炎医療の推進

- ◆ 肝炎ウイルス検査陽性者に対する精密検査受診勧奨
- ◆ 市町村と連携した陽性者のフォローアップ、精検未受診者の受診勧奨
- ◆ 専門医療機関及び協力医療機関の指定基準・評価の見直し検討
- ◆ 肝疾患連携拠点病院と専門医療機関・かかりつけ医との連携推進
- ◆ 肝炎患者の医療費助成を活用した受療促進、肝がん・重度肝硬変の治療研究の促進及び肝がん・重度肝硬変患者への支援

②肝炎肝がんに関する普及啓発の推進

- ◆ 肝炎肝がんに対する正しい知識及び人権尊重に関する普及啓発
- ◆ 健康手帳エル等を活用した情報周知等情報提供体制整備、相談支援体制の充実

個別の取組みと目標(第5章)

(2)がん医療の充実

医療提供体制の充実

	個別目標	現在の状況	2023年度の目標
1	がん患者の5年相対生存率(全年齢) 【大阪府がん登録】	61.0% 【平成21(2009)年診断患者】	改善

	モニタリング指標	現在の状況
1	年間新入院がん患者数 【がん診療拠点病院現況報告】	156,233名／64病院(小児がん除く) 【平成27(2015)年】
2	悪性腫瘍手術件数 【がん診療拠点病院現況報告】	50,245件／64病院(小児がん除く) 【平成27(2015)年】
3	放射線治療のべ患者数 【がん診療拠点病院現況報告】	17,016名／64病院(小児がん除く) 【平成27(2015)年】
4	外来化学療法のべ患者数 【がん診療拠点病院現況報告】	29,249名／64病院(小児がん除く) 【平成27(2015)年】
5	地域連携クリティカルパスを適用したのべ患者数 【がん診療拠点病院現況報告】	558名／64病院(小児がん除く) 【平成28(2016)年6月～7月】

個別の取組み

①がん診療拠点病院の機能強化

- ◆ 大阪府がん診療連携協議会と連携した、集学的治療、多職種によるチーム医療、緩和ケアの推進などの機能強化
- ◆ 国指定のがん診療拠点病衣の指定要件見直しを踏まえた、府指定のがん診療拠点病院の指定要件見直し
- ◆ 都道府県がん診療拠点病院等によるがん診療拠点病院訪問、好事例収集・情報共有

②がん医療連携体診の充実

- ◆ 大阪府がん診療連携協議会や二次医療圏がん診療ネットワーク協議会との連携の充実

③人材育成の充実

- ◆ 国がんや大阪国際がんセンター、大学病院等が実施する専門研修への医療従事者派遣、放射線治療法・化学療法に関する研修会等開催
- ◆ 文科省「がんプロフェッショナル養成プラン」への参画等

個別の取組みと目標(第5章)

(2)がん医療の充実

小児・AYA世代、高齢者、希少がん等のがん対策

	モニタリング指標	現在の状況
1	小児(0歳～14歳)における5年実測生存率 【大阪府がん登録】	81.9% 【平成17(2005)年～平成21(2009)年】
2	AYA世代(15歳～29歳)における5年実測生存率 【大阪府がん登録】	78.7% 【平成17(2005)年～平成21(2009)年】
3	AYA世代(30歳～39歳)における5年実測生存率 【大阪府がん登録】	77.7% 【平成17(2005)年～平成21(2009)年】

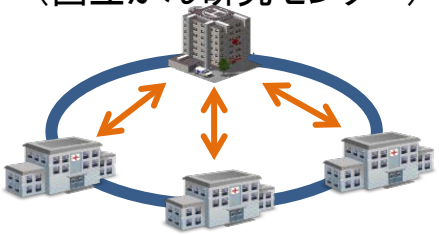
個別の取組み

①小児・AYA世代のがん
- ◆ がん患者・サバイバーのニーズ把握、がん医療の連携・協力体制、相談支援、情報提供、長期フォローアップ体制の充実
- ◆ がん登録等を活用した診療状況等のモニタリング
- ◆ 成人領域の専門性を要するAYA世代のがん情報提供、支援体制整備
- ◆ 小児・AYA世代に対応可能な在宅緩和ケアマップリストの作成

②高齢者のがん
- ◆ 高齢者のがん診療に関する診療ガイドラインの拠点病院等への普及

③希少がん等
- ◆ 国が整備する中核的な役割を担う医療機関と府内がん診療拠点病院との連携のあり方、希少がんに関する情報提供、相談支援の検討

希少がん中央機関(仮称)
(国立がん研究センター)



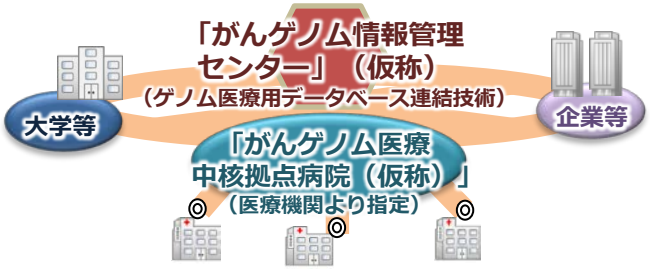
個別の取組みと目標(第5章)

(2)がん医療の充実

新たな治療法の活用

個別の取組み

◆ 大阪重粒子線センターや開催BNCT医療研究センターと府内がん診療拠点病院との連携
◆ 国検討のがんゲノム医療に関する府内の体制整備について検討



がん登録の推進

	モニタリング指標	現在の状況
1	DCO% ＜がん登録データの精度の維持＞ 【大阪府調べ】	7．9% 【平成24(2012)年】
2	がん登録データなどの情報提供件数 【大阪府調べ】	15件 【平成28(2016)年】

個別の取組み

①がん登録の精度向上
◆ がん登録実務担当者の育成、スキルアップ研修会の実施
◆ 登録作業の効率化、最新情報の府民への還元

②がん登録による情報の提供
◆ 府民に対するがん登録の意義等周知
◆ がん登録データを用いたがん診療拠点病院の診療実績の情報提供
◆ 国策定のがん登録データ提供マニュアルを踏まえた患者・家族等へのデータ提供に係る条件整備

③がん登録による情報の活用
◆ がん検診の精度管理やがん医療の向上等、がん対策の企画立案・評価への活用

「全国がん登録」のロゴマーク

個別の取組みと目標(第5章)

(2)がん医療の充実

緩和ケアの推進

	個別目標	現在の状況	2023年度の目標
1	がん患者の緩和ケアに対する満足度 (痛み、不安、治療方法や療養場所、経済面、家族への配慮等への対応に係る非常に思う、そう思う平均値) 【がん患者ニーズ調査】	58.6% 【平成28(2016)年度】	100%

	モニタリング指標	現在の状況
1	緩和ケアチームに対する新規診療症例数 【がん診療拠点病院現況報告】	9,562件／64病院(小児がん除く) 【平成27(2015)年】
2	緩和ケア研修受講者数 【大阪府調べ】	1,736名 【平成29(2017)年6月】
3	在宅緩和ケアに取組む医療機関数 【がん診療拠点病院現況報告】	877医療機関／64病院(小児がん除く) 【平成29(2017)年3月】
4	がん患者の緩和ケアに対する理解度の向上 【がん患者ニーズ調査】	49.6% 【平成28(2016)年度】

個別の取組み

①緩和ケアの普及啓発
- ◆ 緩和ケアに関する正しい知識の効果的な普及啓発

②質の高い緩和ケア提供体制の確保
- ◆ 苦痛スクリーニングやその後の対応、多職種チーム研修会等の実施
- ◆ 認定看護師等専門性が高い医療従事者の適正配置モデルの提示
- ◆ 緩和ケアセンターの整備・機能強化の促進

③緩和ケアに関する人材育成
- ◆ 拠点病院、それ以外の緩和ケア従事者への緩和ケア研修会受講促進
- ◆ 緩和ケア研修受講後のフォローアップ体制の充実
- ◆ 拠点病院以外の医療機関における緩和ケアの正しい知識の習得促進

④在宅緩和ケアの充実
- ◆ がん緩和地域連携クリティカルパス運用拡大、緩和ケアマップ等作成、在宅と病院の連携体制検討、在宅緩和ケアの知識・技術の習得支援

個別の取組みと目標(第5章)

(3)患者支援の充実

がん患者の相談支援、情報提供

	個別目標	現在の状況	2023年度の目標
1	がん相談支援センターの認知度 【がん患者ニーズ調査】	82% 【平成28(2016)年度】	100%

	モニタリング指標	現在の状況
1	がん相談支援センターの相談件数 【がん診療拠点病院現況報告】	80,923件／64病院(小児がん除く) (【平成17(2005)年～平成21(2009)年】 【平成27(2015)年】

個別の取組み

①がん相談支援センターの機能強化

◆ がん診療拠点病院に設置されたがん相談支援センターの相談員向けスキルアップ研修会の実施

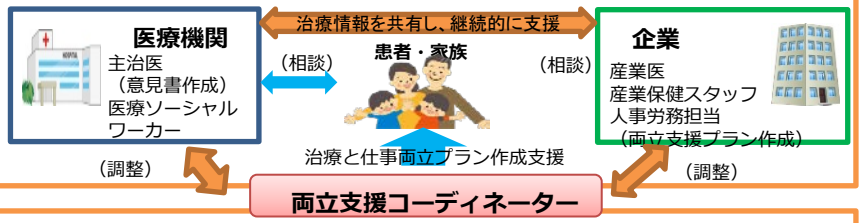
◆ PDCAサイクルの活用によるがん相談支援センターの持続的な改善

②がん相談支援センターの周知と利用促進

◆ 相談支援センターの利用に向けた院内掲示の充実、主治医等医療従事者からの紹介促進、ホームページや療養情報冊子、チラシ等を用いた院外への周知

○がん患者への情報提供

◆ がん患者が必要とする拠点病院の診療情報等のアクセス環境の整備



就労支援等のサバイバーシップ支援

①小児・AYA世代への支援

◆ がん登録等の情報を通じた小児・AYA世代の実態把握、大阪国際がんセンターがん対策センターホームページや療養情報冊子等における集学、就労、生殖機能の温存等の情報提供

◆ 治療と学業の継続のため、入院中の教育支援、退院後の学校・地域での受け入れ体制等の実態把握、必要な支援の検討、小児・AYA世代のがんについての正しい知識の普及による地域での受け入れ促進

◆ ハローワーク、地域若者サポートステーション等と相談支援センター、学校との連携

◆ 小児がん患者の家族に対する相談支援の充実

②働く世代のがん患者の就労支援の推進

◆ がん患者と家族に対する治療と仕事の両立支援に関する普及啓発

◆ 企業を対象とした事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドラインの普及啓発

◆ がん相談支援センター相談員を対象とした就労支援のためのスキルアップ研修の実施

③高齢者の支援

◆ 高齢のがん患者の意思決定の支援に関する診療ガイドラインのがん診療拠点病院への普及

④その他(アピアランスケア・生殖機能の温存)

◆ 治療に伴う外見(アピアランス)の変化、生殖機能の温存、大阪重粒子線センターにおける患者支援

個別の取組みと目標(第5章)

(4)がん対策を社会全体で進める環境づくり

	モニタリング指標	現在の状況
1	がん対策基金による企画提案公募事業累積採択延べ件数 【大阪府調べ】	45件 【平成25(2013)年度～ 平成29(2017)年度】
2	がん検診受診推進員認定数 【大阪府調べ】	3,978人 【平成29(2017)年.3月】
3	患者会、患者支援団体及び患者サロンの数 【大阪府調べ】	患者会及び患者支援団体:36団体 患者サロン:58病院 【平成29(2017)年7月】

個別の取組み

社会全体での機運づくり

◆ がん患者や家族を含めた府民、医療関係者、医療保険者、教育関係者、企業、マスメディアなど、様々な主体と連携した取組みの推進

大阪府がん対策基金

◆ 大阪府がん対策基金の継続運用
◆ 患者会や民間団体の自主的活動の支援
◆ 公民連携など効果的な普及啓発活動、府民からの寄附協力

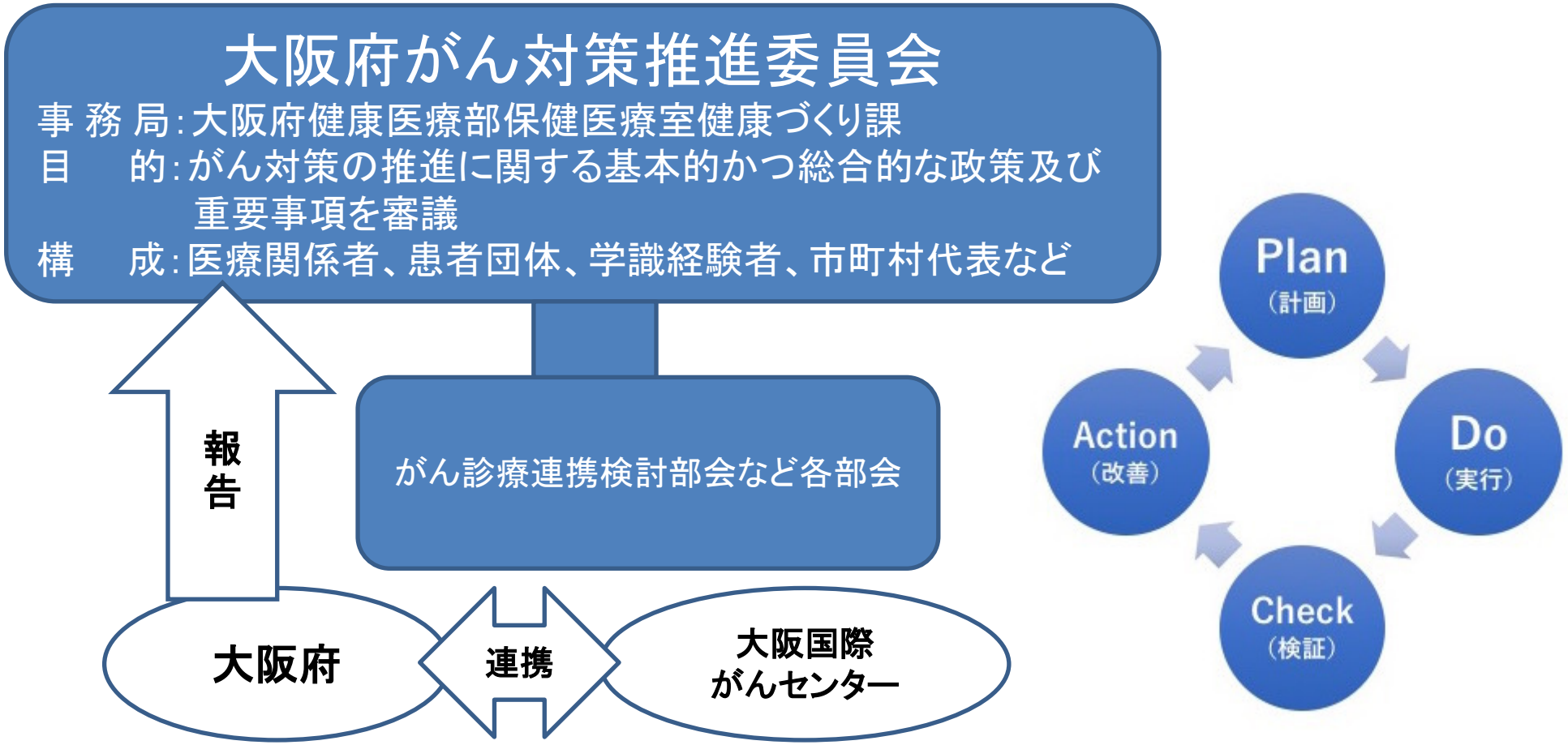
がん患者会との連携促進

◆ がん患者をはじめとする関係者との継続的な意見交換
◆ がん患者会や患者サロン等の情報提供
◆ 拠点病院における患者サロンの整備促進

命を守る
がん検診
大阪府がん対策基金

計画の推進体制(第6章)

〇本計画に沿って実施する取組内容について、「大阪府がん対策推進委員会」に毎年度報告し、進捗管理に関するPDCAサイクルを実施し、施策に反映



第3期大阪府がん対策推進計画　策定経過

開催日		開催会議名	審議事項
平成29年			
	3月23日	大阪がん患者団体協議会との意見交換会	次期がん対策推進計画策定に向けて
	3月31日	平成28年度　大阪府がん対策推進委員会	次期大阪府がん対策推進計画策定に向けて
	5月23日	大阪がん患者団体協議会との意見交換会	第3期計画素案全般についての概要説明及び意見交換
	7月26日	大阪がん患者団体協議会との意見交換会	第3期計画素案全般についての概要説明及び意見交換
	7月28日	第1回小児がん部会	第3期計画（素案）の検討について（小児がん）
	7月31日	第1回がん登録等部会	第3期計画（素案）の検討について（がん登録）
	8月4日	第1回患者支援検討部会	第3期計画（素案）の検討について（相談支援）
	8月8日	第1回緩和ケア検討部会	第3期計画（素案）の検討について（緩和ケア）
	8月9日	第1回がん検診・診療部会	第3期計画（素案）の検討について（がん検診）
	8月17日	第1回がん診療拠点病院部会	第3期計画（素案）の検討について（拠点病院）
	8月17日	第1回肝炎肝がん対策部会	第3期計画（素案）の検討について（肝炎・肝がん）
	9月25日	平成29年度　第1回大阪府がん対策推進委員会	第3期大阪府がん対策推進計画素案について
	10月30日	大阪がん患者団体協議会との意見交換会	第3期大阪府がん対策推進計画素案について
	11月14日	第2回がん登録等部会	第3期計画（案）の検討について（がん登録）
	11月15日	第2回がん検診・診療部会	第3期計画（案）の検討について（がん検診）
	11月17日	第2回患者支援検討部会	第3期計画（案）の検討について（相談支援）
	11月21日	第2回がん診療拠点病院部会	第3期計画（案）の検討について（拠点病院）
	11月22日	第2回小児がん部会	第3期計画（案）の検討について（小児がん）
	11月27日	第2回緩和ケア推進部会	第3期計画（案）の検討について（緩和ケア）
	12月7日	第2回肝炎肝がん対策部会	第3期計画（案）の検討について（肝炎・肝がん）
	12月27日	平成29年度　第2回大阪府がん対策推進委員会	第3期計画パブリックコメント提示案　承認
平成30年			
	1月19日 ～2月19日	府民意見募集（パブリックコメント）	37名（団体含む）から延べ68件
	3月29日	平成29年度　第3回大阪府がん対策推進委員会	第3期大阪府がん対策推進計画

2025年万博を日本、大阪・関西へ

いのち輝く未来社会のデザイン

Designing Future Society for Our Lives

〇2025万博を大阪・関西へ！
〇誘致に関する情報を提供中！！〔会員募集中です〕
〇誘致委員会ホームページ：http://www.expo2025-osaka-japan.jp/

万博開催概要

Overview

開催期間：2025年5月3日(土)～11月3日(月) 185日間

開催場所：大阪　夢洲(ゆめしま)

想定来場者数：約2,800万人

経済波及効果(試算値)：約２兆円

OSAKA-KANSAI JAPAN EXPO2025

World Expo 2025 Candidate